

広報広聴事業

市民との意見交換会

# 実施報告書



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 報告内容（当日配布資料）
4. 参加者からの質問及びご意見
5. アンケート集計結果
6. 資料
7. 最後に

## 1. はじめに

現在、岩見沢市議会は議会改革を進めており、その一環として、市民との情報共有の場、また意見交換の機会を増やしていきたいと考えてきました。

そして、平成 26 年度は、各常任委員会が実施した他都市調査の内容を市民に対して報告する「他都市調査報告会」を実験的に開催しました。

翌年、平成 27 年度は、岩見沢市議会フォーラム“元気 UP 岩見沢！”と題し、各常任委員会が担当する範囲から、話題提供し、議会活動全般に対して意見交換を行ってまいりました。その中で、お越しいただきました皆様より「各地域で開催をしてほしい」「建設的な報告会をしてほしい」「報告会と言うより市民の声が生きる会に」といったご意見をいただきました。

こうした皆様からの声を参考とさせていただき、3 回目となる平成 28 年度は、議会側からの話題提供をよりシンプルにし、前段に各常任委員会の所管事務などを紹介後、市民の皆様との意見交換に重点を置くことといたしました。

そして平成 29 年度は、昨年度同様に意見交換の手法により、豪雪地帯である岩見沢市の永遠の課題「除排雪対策」をテーマに取り上げ、実生活の諸問題について忌憚なくお話しただけよう努めてまいりました。

皆様から頂戴した多様なご意見を真摯に受け止め、しっかりと検討協議していく中で、市民の代表としての議会の機能を果たしていきたいと考えております。

### 岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 酒井和子

副委員長 樽舘竜哉

委員 伊澤幸信

太田博之

豊岡義博

大和 勝

山田靖廣

池島和行

## 2. 開催概要

■実施日時

平成29年11月25日（土）15時より

■開催場所

生涯学習センターいわなび

■開催テーマ

除排雪について

【事業内容】

開催テーマに基づいた意見交換を実施。その後、参加された皆様からの自由な問題提起、意見交換を主として開催いたしました。

【来場者数】

10名

【アンケート回答者数】

9名（回収率90%）

### 3. 報告内容（当日配布資料）

## 平成29年度 岩見沢市議会 市民との意見交換会



日時:平成29年11月25日(土)15:00

1 場所:岩見沢市生涯学習センター 2F

## 気象状況

平成28年度の冬は、昭和28年の統計開始以来5番目に少ない降雪量でした。



2

## 市の基本的な考え

冬期間の安全で安心な市民生活や道路交通を確保するため、全庁体制で『総合的な雪対策』に取り組んでいます。



3

## 道路除排雪計画

### 道路除雪

市内全域を16工区（内幹線4工区）に分け、歩車道の除雪作業を実施します。新雪除雪（10cm以上の降雪が目安）は、午前7時までの作業終了を目標に出動します。

種別	H29計画延長	H28計画延長	増減
車道除雪	968.2km	967.9km	0.3km
歩道除雪	137.4km	137.2km	0.2km

### 運搬排雪

バス路線、通学路、幹線道路を中心に実施します。

種別	H29計画延長	H28計画延長	増減
運搬排雪	89.3km	89.3km	0km

4

# 運搬排雪

## バス路線の改編

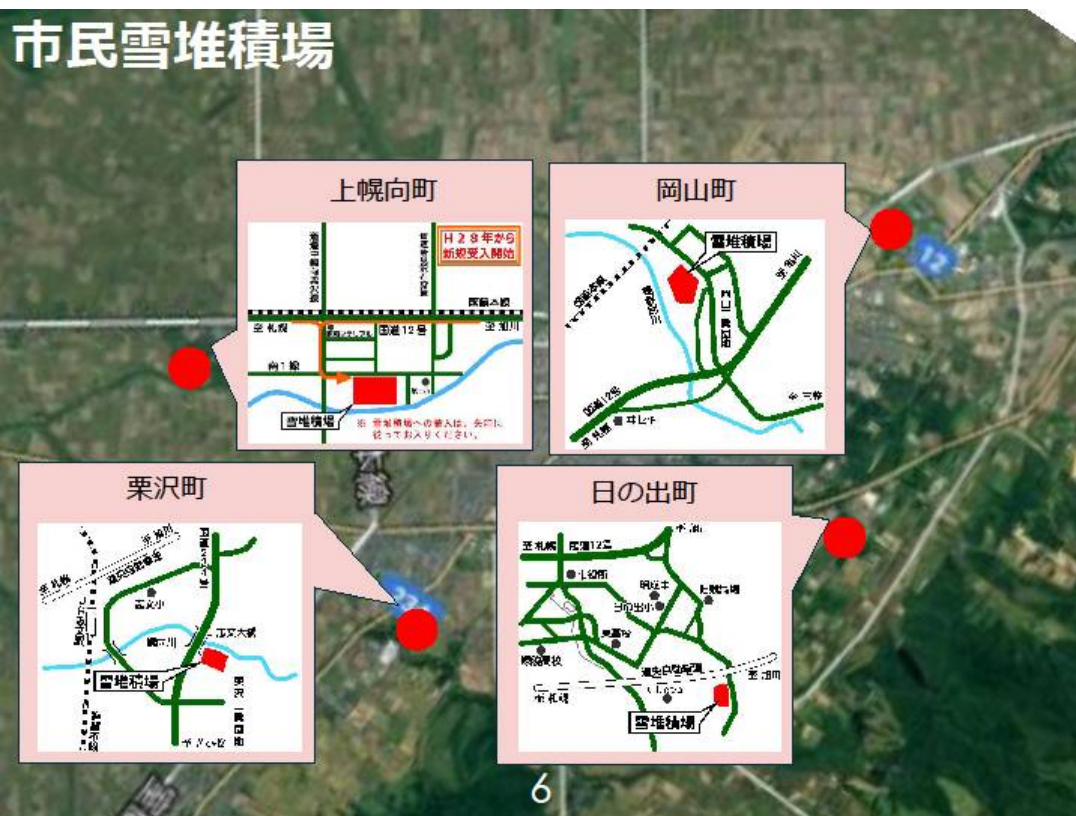
平成29年10月1日よりバス路線が改編されました。



- 市道見直し路線
- ・西川町中央線
  - ・北3条線
  - ・北本町東4号線
  - ・北本町東8丁目線
  - ・西6丁目線
  - ・6条線
  - ・7条線
  - ・鳩が丘中央線
  - ・南町1丁目中3号線
- ほか6路線  
全15路線

- 市道新規路線
- ・東17丁目線
  - ・北真線
  - ・岩見沢北村線
  - ・柳橋新興線
  - ・南4線
  - ・南町2丁目線
  - ・南3線
- 全7路線

## 市民雪堆積場



## 総合的な雪対策

### ★ 地域との協働

- ・地域自主排雪支援・地域除雪センター・公園への雪入れ
- ・公園機能の見直し

### ★ 弱者支援

- ・弱者等調査支援活動・高齢者世帯等雪下ろし助成・地域除排雪活動支援
- ・除雪ボランティア

### ★ 間口の置き雪対策

### ★ 安全対策

- ・雪下ろし装備貸出・空家対応

### ★ 情報提供

- ・市からの情報・北海道開発局からの情報

### ★ ICTの活用

- ・農業用GPS装置を除雪機械に利用

7

## 地域との協働①

### 地域自主排雪支援

町会単位で、生活道路の運搬排雪実施に対して支援いたします。

- 町会負担・・・運搬に要する費用（ダンプ代）
- 市の支援・・・大型ロータリ除雪車 1台  
除雪ドーザ 2台  
交通誘導員 3名

平成27年度実績・・・36町会

平成28年度実績・・・32町会

### 地域除雪センター

地域・受託業者の共同運営により、苦情処理や地域と市の連絡調整を行います。市は設置・運営等に係る費用を支援いたします。

平成28年度実績・・・緑が丘地区・上幌向地区  
幌向地区



<自主排雪作業前>



<作業後>



<緑が丘地区除雪センター>

8

## 地域との協働②

### 公園の雪入れ

#### 【実証実験】

平成27年度～大型ロータリを使用し、沿線道路の雪を集めて公園内に投雪を実施

平成28年度～地域自主排雪と連携して、公園内に投雪を実施

#### 【結果】

- 遊具の破損等は見受けられないが、ゴミや砂利が広範囲で散乱
- 公園の融雪の遅れは1週間程度
- 公園周辺以外の住民からは不公平と不満
- H28は少雪のため、自主排雪費用抑制の効果は小さい

#### 【今後】

- 実証実験の継続



<雪入れ状況>



<融雪後の状況>

## 弱者支援

### 弱者等調査支援活動

大雪時に、さらに体制を拡張して、弱者等調査支援活動を実施します。  
調査世帯リストを町会長に送付します。



調査支援活動>

### 高齢者世帯等雪下ろし助成

屋根の雪下ろしに対する助成をします。

対象・・・市内に住所のある一戸建、非課税または均等割り高齢者世帯、障がい者世帯



屋根の雪下ろし作業>

### 地域除排雪活動支援事業

町内会の除雪ボランティア活動を支援します。

### 除雪ボランティア（社会福祉協議会）

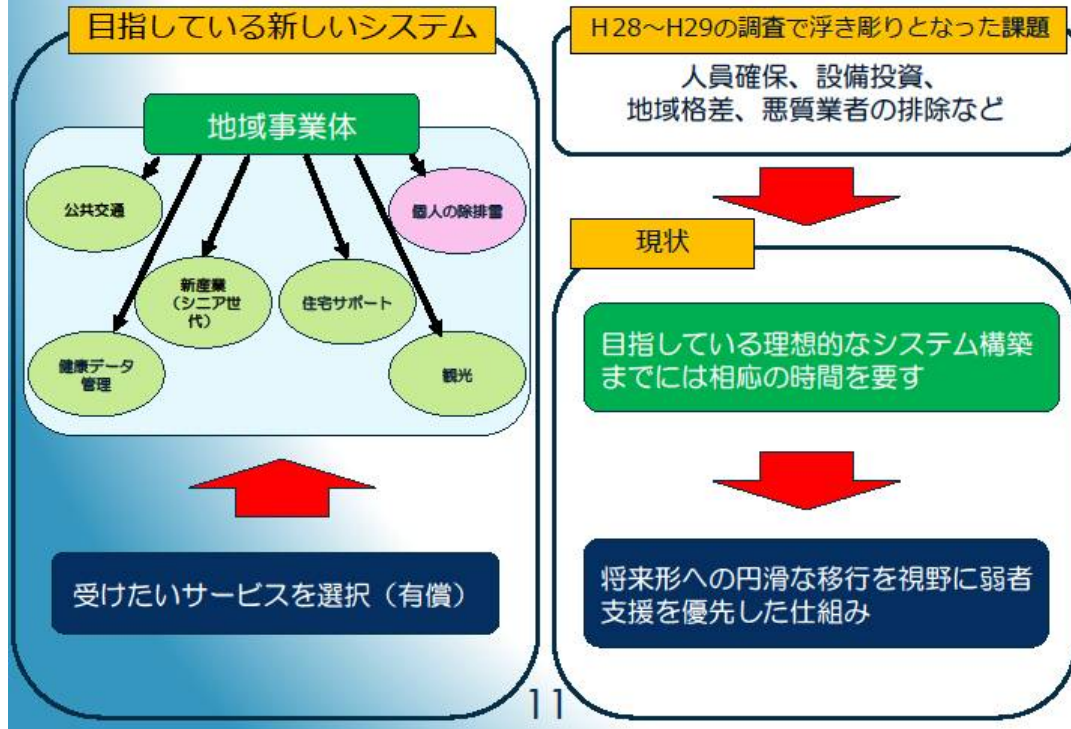
社会福祉協議会にボランティア登録いただいた企業・団体・個人の方に弱者の除雪を支援いただいています。



<ボランティアによる除雪>



## 間口の置き雪対策



## 安全対策

### 雪下ろし装備貸出

雪下ろし安全装備3点セット（命綱・安全帯・ヘルメット）の無料貸し出し



<安全装備3点セット>

### 空家対応

空き家パトロールの強化と状況把握で公道への落雪防止  
 や緊急措置による危険回避



<空家落雪状況>



## 情報提供

### 市からの情報

暴風雪及び落雪に関する注意喚起、排雪に伴う通行止め、積雪・降雪状況などの情報について、伝達手段を多様化して発信しています。

- 広報いわみざわ。市ホームページ、ツイッター、フェイスブック、市民気象情報、雪情報モニター、エフエムはまなす76.1MHz、IHK街頭放送メールサービス etc.

### 北海道開発局からの情報

国道、道道の通行止め情報のほか、国道や主要峠などの道路状況をカメラ画像で確認できます。

13

## ICTの活用

### 農業用GPS装置を除雪機械に利用

平成25年度～平成27年度  
農業用GPS装置を冬期間活用するため、未除雪路線の雪割での実証実験を実施



平成28年度  
未除雪路線雪割に本格導入



<モニター取付状況>



<モニター画面>

14

岩見沢市では、毎年、機械等の導入、メンテナンス等を含めて、約13億4,200万円程の、雪に関するの予算が立てられています。

この内、約12億弱が、実際の除排雪に使われています。

ご存知のように、昨今、除排雪に関わる人的資源が減少し、高齢化も懸念されています。

市民の皆さんと共に、自助、共助、公助の精神を大事にしたいと思います。

以上で、「市民との意見交換会」  
開催テーマについての話題提供  
と致します。

ご清聴ありがとうございました。

#### 4. 参加者からの意見・質問など

注：いただいたご意見・ご質問は紙面の都合上、要約させていただいております。  
また、お答えした議員の発言は議会の総意ではなく、議員個々の見解であることをお含みおきください。

##### 【開催テーマ：除排雪に関するもの】

**意見** 間口の置き雪対策について、夫が全国各地を単身赴任しており、除雪車が入った後の塊を置いておかれると、一人で大変。夫が言うには雪のない地方から帰ると、岩見沢市の雪は年齢的に大変。道路の雪を置いていかないようにしてほしい。

**回答** 岩見沢市の除雪の方針はかき分け、地域によっては、業者はなるべく空き地に押している。どうしてもないところは、ただ道をつけるのが基本。皆さんが朝早く起きて、道を開けるほど、空いている所に雪が入ってしまうのが現状。そのことが問題になり、市の方で間口置き雪を何とかしようとなった。基本的には受益者負担ということで、検討中。地域によってはお金でということも聞いている。除雪車のスピードによっても雪の入り方が違うと聞いている。私たちも市当局の方へ出向く。

あくまでもかき分け方式を理解して欲しい。雪問題ではいつも皆さんからそういう意見が出るが、一軒一軒時間内でやるのが難しいことがあるのも事実。このぐらいの答えしかできないが、方式を理解していただきたい。地域によっては、一部分を残し、除雪車が通った後きれいにしているようだ。

**(再)** 引っ越してきた当時の業者はきれいにしてくれたが、業者がかわってから、きれいでないことが続いたので、その時によるのかと思った。

**回答** 市の方で業者を集めて、一定のルールに基づいて、除排雪の差が出ないように説明している。業者によるといったが、ある程度の均衡化は図られていると聞いている。

**回答** せっかく朝早く起きて、家の前をきれいにしても、業者さんが雪を置いていくと、怒り心頭になる。どこからも聞いている。除雪 110 番 22-8400 に電話を入れただくしか、よいアイデアが今のところない。除雪作業も、時間のない

中、まず開けようというスタンスでやっている。人手も、高齢化、技術の伝承等苦慮している。お互い様で、ご理解いただきたい。

**回答** 今日の除排雪についての説明で、雪対策で、市民と共に自助、共助、公助の精神を大事にしたいとあったが、お金を一銭もかけないでできる。特に、冬の道路運転で、無駄が多いのでは、例えば、交差点で、右折自動車で渋滞するため、左側を開ける工夫してはと提案して、解決した。また、運転していて、譲り合い精神が交通等をスムーズにする。

### 【自由な意見交換】

**意見** 子どもたちの冬休みの過ごし方について、スキー場が遠いので、駅前の赤レンガ広場であるが、ドカ雪まつりぐらいしか、冬活用していないのではないか。スケートリンクなどがあると、バスターミナルから来ることができ、スキー場へ行くよりも行きやすいのでは。冬の間、子供たちはどうしても家の中にこもりがちになる。

私は小学校時代、富良野市の小学校では、校庭にスケートリンクを作っていた。網走でも我が子の学校でスケートリンクを作っていた。冬休み中だけでも家の中にこもらないためにスポーツをする場所を設けていただけるとよいのではと何人かの人と話をした。お金がかかるが、機会があればお願いしたい。

**回答** 幌向小の前にスケートリンクを作ったことがある。あくまでもボランティアで夜中作業していた。次第に利用者が少なくなり、これではどうしようもない、手間ばかりがかかるということでやめた経緯がある。以前はあったが、基本的にはなくなった。

スキー場であるが、もっと急なところを求め、夕張等へ行くが、親がついていけないのが現状。

**回答** 赤レンガ駅東市民広場にスケートリンクはいいと思う。今、北海道の子供たちの学力体力調査で、著しく低く46番目。北海道の子供たちは人並外れて運動しない。外で遊ぶことが著しく減っている。社会問題になっている。

ノーベル経済学受賞者ジェームズ・ヘックマンが提唱しているが、特に幼い頃はIQを高めるより、非認知的能力を高めるべき、たくましさ、挑戦する力、人の気持ちを読み取る力等を高めるべき、何で培われるかということ、それは遊びで

あるというもの。我々が子供のころは汚い、危ない、うるさいが遊びだった。今、そういう環境がなくなった。今、小さい子供の両親はそういう遊びを経験していない。どう遊ばせたらよいかわからない。岩見沢プレイパーク研究会にかかわっているが、汚い、危ない、うるさい遊びを徹底的にやらせている。そういうのがムーブメントになってくると、行政のやり方も変わってくると思う。今は、社会環境が変化していく過渡期。徹底的に外遊びさせることは社会として、担うべき大事なことであるが、行政ですべきかという点と難しい。ベースはボランティアで始めるとか、そういう所が必要では。共通の認識をしていることをお伝えする。

**質問** 市の問題点は人口減対策で合併したが、人口減は避けられない問題。そこに住んで、安心して子どもを産み育てられる環境整備が大事だ。岩見沢はそうになっているのかという素朴な疑問がある。同時に、まちづくり条例が制定されたが、その中で、市の役割、議会の役割、市民の役割とある。議会はこの条例に基づいて、具体的にどう動くのかということを問う。

かつてまちづくり活動等いろいろな住民活動があった。それがいつの間にか衰退していく中で、地域連帯感がなくなったとよく言われる。そういう問題を、市はどう掘り起こしていったらよいのか。行政、議会がかかわる一つの問題点ではないのか。町内会、連協等各種団体が、市をどう住みよいまちとして作っていくのか話し合う場面がないのでは。市は育成して立ち上げていくためには、どういふかかわり方をしたらよいのか、議会はどうかかわっていくのか。私たち市民はどう動けばよいのか。まちづくり条例にはそれが書いてある。これが総論であれば、今後、各論をどう具体的に深めていくのかが問われている。議員の皆さんはどのように考えているのか。市民としてどう動けばよいのか。市としてはどういふところが大事なのか。ご意見をいただきたい。

もう一つ、高齢者の社会参加の問題について。高齢者の生活に裏づけられた知恵がどう時代に伝わっているのか。今の世の中が変わってきている中で、岩見沢市で残忍な犯罪が絶対ないとは限らない。これでよいのかという意識改革の働きかけが必要。市にも議会にも求められる。議員の考えを聞きたい。

**回答** まちづくり基本条例の制定に議員としてかかわったことから、市民活動の底上げをどうすべきかであるが、市民活動の最も疑念すべきところは、いいことをやっている人たちはたくさんいるが、お互いがその活動を知らなかったり、連携が全く取れていないというのが、岩見沢市の最大の課題。例えば、イベントであ

るがお互いの日程を知っていれば、そうはしなかったのにとか、もっとうまくできるのにとということが多々ある。市には今、市民活動支援センター的なセクションがない。お互い、連携をする場が持てない。課題である。議会として、個人として質問はした。市民同士の意思共有の場を持つべきと考える。市民、議会、行政の役割は、基本条例にあるが。議会は市の意思を決める議決機関。市長等による事務の執行を監視及び牽制し、市民の意思を政策に反映させるもの。通常議員は市民の意見を聞くが、親しい人から聞くことが多いため偏る。このような公の場で多様な意見を聞くことで、市政に反映できるため有意義だ。そういった意思をもって議員一人ひとり政策に反映させるのが議会としての重要な役割であると認識している。

**回答** 議会の責任として、今までは広報委員会が担ってきたが、中身を変え、広報広聴委員会にして、皆さんの意見をこのように聞き、議会の中に生かすか。そのためにこの意見交換会をした。なかなか成果は上がらないが、このような機会を通じて、皆さんとしっかり議会のあり方を議論して、議会としての役目を果たしていきたい。そのためには議会も変わっていかなければならない。できれば、この次の意見交換会には、皆様のお仲間を集めていただき、もっと活発なものにしたい。

## 5. アンケート集計結果

- 実施日 平成29年11月25日（土）
- 来場者数 10名
- アンケート回答者数 9名（回収率90%）

### ■今回の意見交換会について■

Q1 皆さまについてお聞かせください。

年齢（参考：アンケート回答者9人の平均年齢58歳）

答え	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
人数		2	3	2	2		

性別 A 男性 B 女性

答え	男性	女性	無回答
人数	8	1	

Q2 今回の開催について、どのようにお知りになりましたか。 ※複数回答あり

A 市議会ホームページ B 市議会だより C 意見交換会ポスター D 知人  
E 新聞など F その他

答え	ホームページ	議会だより	ポスター	知人	新聞など	その他	無回答
人数		5	1	3	1		

F その他で記載のあったもの

Q3 参加しようと思ったきっかけは。 ※複数回答あり

A 市議会に関心がある B 報告内容に興味がある C その他

答え	市議会に関心がある	報告内容に興味がある	その他	無回答
人数	2	6	1	

C その他で記載のあったもの

Q4 参加した感想についてお聞かせください。

今回のテーマ（報告内容・意見交換）について



A 良い B 普通 C 悪い D その他

答え	良い	普通	悪い	その他	無回答
人数	7	2			

D その他で記載のあったもの

日時の設定について (日時・会場別)

A 良い B 平日昼間 C 平日夜 D その他

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	7	1		1	

C 平日夜で記載のあったもの

D その他で記載のあったもの

10月頃

会場の設定について

A 良い B 悪い C その他

答え	良い	悪い	その他	無回答
人数	7			2

A 良いで記載のあったもの

C その他で記載のあったもの

- ・まなみーるであれば駐車場が広い
- ・駐車場があるところ

今後の開催について

A 必要 B 必要ない C わからない

答え	必要	必要ない	わからない	無回答
人数	8	1		

Q5 今後、どのような意見交換会、報告会等があれば、参加したいと思いますか？

- ・どのような内容でもあれば参加したい
- ・地域づくり活動やコミュニティのあり方

Q6 今回の報告会でお気づきの点や発言できなかったことなどありましたらご記入下さい。

- ・父兄という表現があったが、昔の言葉で不適切と考える。父母や保護者が適切ではないか。

■岩見沢市議会について■

Q7 これまでに市議会（本会議・委員会など）を傍聴したことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	1	6		2

B いいえで記載のあったもの

C ご意見

Q8 これまでに市議会だよりを読んだことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	7			2

Q9 定例会開催案内ポスターを見たことはありますか。 ※複数回答あり

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	7			2

C ご意見に記載のあったもの

Q10 本会議のインターネット中継を見たことはありますか。

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	2	4		3

Q11 その他、岩見沢市議会へのご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

## 6. 資料

### 開催状況写真



＜開催告知ポスター＞

# 岩見沢市議会広報広聴事業 市民との 意見交換会

開催テーマ **除排雪について**

**11月25日(土) 午後3時～**

会場 岩見沢市生涯学習センターいわなび（岩見沢市4条西1丁目）

※事前の申し込みは不要です。（無料）

岩見沢市政において、今後、重要な要素を備えている事項や課題となっているもの、また日常の市民生活において課題となっているもの、改善すべき点等々について、市民と議会との意見交換を行い、今後の市政に反映していくことを目的として開催します。



## ＜当日の流れ＞

開催テーマに基づいた意見交換を実施。その後、参加された皆様からの自由な問題提起、意見交換を主として開催します。

（開催時間は、全体で100分程度を予定しています。）

## ＜問い合わせ先＞

〒068-8686

岩見沢市場が丘1丁目1番1号

市役所庁舎3階【議会事務局】

TEL: 23-4111（内線462）

FAX: 25-5503

## 7. 最後に

### 岩見沢市議会広報広聴事業 市民との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成26年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成28年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

4回目となる今回は、市民の皆様の関心が高い「除排雪について」をテーマとして意見交換をいたしました。また、雪のない時期がよいとの声を多くいただいたことから、従来の2月開催から11月開催といたしました。結果として、参加者数には多くの課題が残りましたが、ご参加いただいた皆様から、市政に対し多様なご意見・ご要望をいただけた事は有難く、今後の議会としての活動に向けて大きな意義を持つものであります。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制のもと、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できる様に務めてまいります。

御協力を賜りました事に厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長  
井 幡 修 一